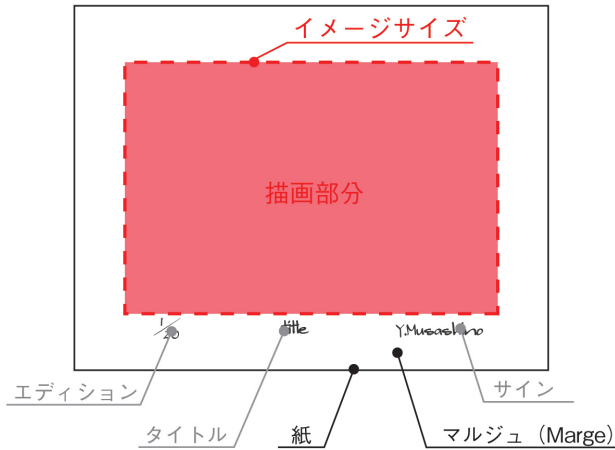


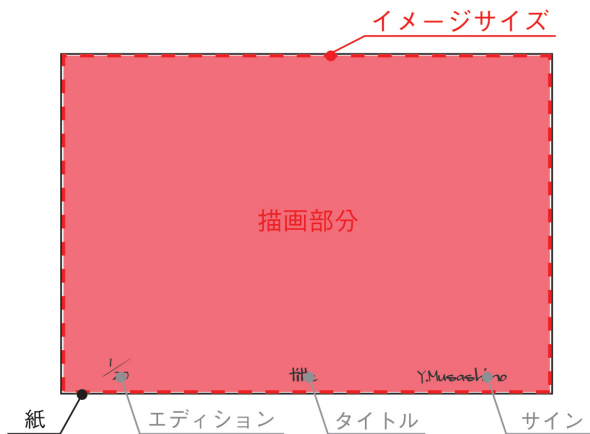
# イメージサイズ

いめーじさいず

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A  
B  
C  
D  
E  
F  
G  
H  
I  
J  
K  
L  
M  
N  
O  
P  
Q  
R  
S  
T  
U  
V  
W  
X  
Y  
Z  
数字



版画作品におけるイメージサイズ



※ サイン、エディションなどを記入する位置はこの図と異なる場合や、作品の裏面に記入する場合があります

刷り切りにおけるイメージサイズ

## 概要

イメージサイズとは、版画作品において、版によって紙（支持体）に刷り取られるイメージ部分の寸法のことです。その大きさを縦×横で表記します。

版画作品は紙などの支持体に印刷されて作品として完成します。支持体に印刷された版画作品の多くは、版の描画部分であるイメージ部分と作者のサイン（署名）やエディション（限定部数）、タイトル（題名）などを表記する余白部分（マルジュ）によって構成されます。そのため版画作品を制作する際には、作者のイメージを鑑賞者に最も効果的に見せるために、イメージを展開する描画部分の領域であるイメージサイズと、余白の大きさのバランスを考慮する必要があります。また例外として、版の描画部分を紙全面と同サイズとして、刷りあがった作品に余白を作らない「刷り切り」と呼ばれる印刷方法もあります。版画において印刷される紙の全体の寸法はシートサイズ（ペーパーサイズ）と呼ばれ、この刷り切りによって印刷された作品は、イメージサイズとシートサイズが同じ寸法ということになります。

版画作品において展示、ポートフォリオなどに作品のサイズを表記する必要がある場合には、イメージサイズを表記する場合がありますが、イメージサイズ、シートサイズの両方を表記する場合があります。